

第 133 回 アメリカの工業化と大国化

1 南北戦争後の人種問題

・南北戦争終結後の 1865 年、憲法修正第 13 条により（ ）された。
→ただし人種差別的な法律や価値観が、なくなったわけではなかった。

- ・奴隷身分から解放された黒人の多くは、（ ）と呼ばれる小作人として、相変わらず厳しい生活を続けていた。
- ・南部では、ジム=クロウ（法）という黒人隔離政策が行われた。
- ・また（ ）のように、白人至上主義をとなえ、黒人などの有色人種を迫害する秘密結社も結成された。



現在の K・K・K

2 アメリカの工業発展

・西部では牧畜や小麦生産が発展し、アメリカは世界最大の農業生産国となった。
・1869 年に（ ）が完成するなど工業化がすすみ、1890 年代には（ ）となった。



開通を祝う関係者たち

大陸横断鉄道の完成により、アメリカの東海岸と西海岸が結ばれた。これにより、アメリカの経済的、政治的な統一がもたらされた。1869 年は、世界交通を大きく変えた年となった。



働く苦力(クーリー)

この建設には、東部ではアイルランド系の移民が従事した。また 1860 年の北京条約の影響から、西部では中国系を中心とするアジア系移民の苦力(クーリー)が従事し、低賃金での過酷な労働を強いられていた。

- （ ）…1870 年、スタンダード石油を設立し、石油王と呼ばれた。
- カーネギー…実業家で鉄鋼王と呼ばれた。晩年は慈善事業を行った。
- モルガン…投資銀行家で、US スティールを設立し、鉄鋼業を支配した。

・こうしてわずかな大企業が合同し、産業を独占するようになった。
→これに対し（ ）が出されたが、独占は阻止できなかった。

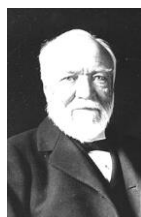
※経済と政治が癒着する拝金主義は「金びか時代」と皮肉られた。

- ・1880 年代には、東欧や南欧からの（ ）が急増していった。
- ・労働者の運動も活発となり、1886 年、（ ）が結成された。
- ・ポピュリズムと呼ばれる農民運動も盛んになり、人民党が結成された。
- ・1869 年には、女性の権利拡大を求めて、全米女性参政権協会も結成された。



ロックフェラー

ロックフェラーの財産は、現在の価値で 20 兆円にものぼった。その子孫は、現在でもアメリカ政財界の実力者である。



カーネギー

スコットランドからの移民で、学校にも通わず一代で大富豪となった。彼の慈善事業は、カーネギーホールなどに名を残している。



巨大トラストへの風刺

小さくて読めないが、壁にはリンカンの演説をもじって、「独占企業の独占企業のための上院」と書かれている。

3 帝国主義の形成

- ・アメリカは、1867年にロシアから（アラスカ）を買収した。
- ・移民排斥の動きも始まり、1882年に中国人移民禁止法が制定された。
- ・西部の開拓も進み、1890年には、（フランクス）が宣言された。
- ・太平洋の（ハワイ）は、1893年にアメリカ系市民のクーデタが起こり、（クメニヒア）が退位してカメハメハ朝が滅亡した。



マッキンリー
第25代大統領。最後は暗殺された。

- ◆（マッキンリー）（在任1897～1901年）
- ・1898年、ハワイを正式に併合した。
- ・カリブ海のスペイン領（プエルトリコ）で独立運動が起こった。
→1898年、（ワシントン）が起こり、勝利した。
→（クベラ）、（フィデル）、（セバスター）、（グアム）島を獲得した。
→1901年のプラット条項により、独立した（ドミニカ）とした。
- ・1899年、国務長官の（ジョン・ヘイ）が（ヘイ）を出し、
アメリカの中国進出が始まった。



ジェロニモ

西部への進出を進めるアメリカに対し、アパッチ族のジェロニモなどが、激しく抵抗した。しかしウーンデッドニーの虐殺後、組織的な抵抗は終わった。



映画『ダンス・ウィズ・ウルブズ』

20世紀の映画では、西部劇などで「野蛮なインディアン」という固定イメージが作られていた。それを打ち崩したのが、1997年公開の映画『ダンス・ウィズ・ウルブズ』であった。



国務長官ジョン・ヘイ

「門戸開放宣言」は、門戸開放、機会均等、領土保全の3つを原則としていた。つづくセオドア・ローズヴェルト政権でも、国務長官を務めた。

